

優良賞

泣きません

夏 美 琪

XIA MEI QI

皆さんは女の人が水で作られていると思いますか。私は泣き虫なので、一番いいの例だと思います。

私は小さい時から、家では王女様でした。父と母は私のわがまを聞いてくれます。小さい時、私は毎晩家の近くの中学でお父さんの帰りを待ちます。お父さんは毎日帰時、必ず私においしい食べ物を買ってきます。お父さんが見るとすぐお父さんのかばんに走って行きます。取り敢えず、お父さんのかばんの中をのぞきます。もし何もお土産がない時は、私はすぐお父さんのかばんをとじます。それから、大きい声で泣きます。お父さんはすぐにスーパーへ行きます。私におかしを買ってくれます。その時から私は泣くのが一番いい“秘密の武器だ”と思いました。

そして、その日から私はお父さんに泣いてわがまを言うようになりました。

最初に日本へ来た時、いろいろな事になじめませんでした。周りの環境にもなれず、みしらぬ人ばかりでちょっと心配でした。毎日仕事が終わって寮へ帰ってから、まず自分で御飯を作ります。毎日全部そうめんです。そんな毎日は本当にとても疲れます。私はいつも家に電話をします。毎回、私は泣きながら話します。泪は水門を開けたダムのように目からあふれてきます。お母さんはいつもやさしい声で「美琪もう大人でしょう、お母さんはそばにいられないか

ら、自分が強くなれるようにがんばってね。」と言います。少し話してからすぐ電話をお父さんに替わります。その時、私はお母さんが私をあまり大切に思っていないように感じ、心の中ではお母さんを責めました。でもある日弟に電話した時、弟は毎回姉さんとの電話が終わると、お母さんはいつもお姉ちゃんの事を心配して、泣いています。お母さんはこの間から身体の具合があまりよくないです。このままでは病気になります。弟の言葉を聞いてから、私は無口になりました。何で私はお母さんが私の事を心配して、身体の具合が悪くなっているのに勝手にお母さんを責めたりしたのだろう。私はもう22歳の大人なのに。私は自分で自分に尋ねます。その時、お母さんの病気の時の表情を思い浮かべてみました。私は泪が止まらなくなりました。でも泣くのは今日で最後です。

その時から私は毎回お母さんに電話する時はいつも日本で体験したおもしろかった事と今では私もいっぱいのおいしい料理を作れるようになった事を話します。毎回お母さんの笑い声が聞こえます。お母さんはとても楽しそうです。いつも「私の娘は本当に大きくなりました。私もとても楽しいです。」と言います。これからの生活でいろいろな困難があっても、私は泣かないようにしたいです。私が泣くと遠方で暮らしているお母さんが私のために悲しくなります。私の事をとても心配します。今の私は自分のためにも泣かないと決めました。

私はお母さんのために22年間の秘密の武器をすてました。そして泪の水門を閉めました。お母さんのために泣きません。

区 分	技能実習生
国 籍	中国
職 種	電子機器組立て
受入れ企業	株式会社ナナオ
受入れ団体	協同組合アイテック